

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
子育て支援プロジェクト Child-rearing project		2年	通年	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	演習	選択	(保育士養成課程選択科目)	こどもフィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
保育士養成課程科目、教職課程科目（幼稚園教諭二種）				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
キャリア演習Ⅰ、キャリア演習Ⅱ				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
高橋登美子 岡泉志のぶ 田村田 久保田隆範		各教員より指示	各教員より指示	授業中に指示します
授業の概要				
教育・保育施設においては、地域における子どもや子育て支援の中核的な役割を担うことが期待される。保育者としてその意義を果たすことを目指し、地域連携事業としての子育て支援活動「キッズプラザさのたん」と「さの子育て応援広場」の活動を通して、人と地域と共に成長できる保育者を育てる。				
授業の目標				
①子どもの最善の利益を考慮した子育て支援のあり方について考察できるようにする。 ②子育て支援活動を通して保護者のニーズを知り、支援者の役割について考察、実践できるようにする。 ③コミュニケーション能力を高め、現場で適応できる保育者としての資質や技術の獲得ができるようにする。 ④子どもや保護者の心を捉え、子育て支援での現場において、気持ちに寄り添う支援ができるようにする。				
授業の方法				
子育て支援事業「キッズプラザさのたん」と「さの子育て応援広場」の活動を通して、保育者に必要な知識と技術の獲得を目指す。授業とスケジュールは、キッズプラザが20週の実施（各グループ）とさの子育て応援広場の企画、運営、実施で1年間を通して行う。授業の内容は、キッズプラザが各担当グループの内容となり、さの子育て応援広場については各役割での授業内容を示す。				
学習の成果（学習成果）				
①地域における子どもや子育て支援の必要性と役割を担うことができる。 ②保育者として必要な知識や技術を総合的に獲得することができる。 ③保育のスタッフワークとしての業務や子どもの支援について実践的に行うことができる。 ④保育の表現者として、「自分を表現したい」という自己表現の欲求を実現することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス：授業概要、評価方法、留意点等の説明 コミュニケーションを高める集団リアクション			
第2回目	子育て支援の意義① ー日本における子育ての現状ー			
第3回目	子育て支援の意義② ー子育て支援の内容と方法ー			
第4回目	地域連携子育て支援事業「キッズプラザさのたん」の事前指導Ⅰ 本学における子育て支援活動の概要と特徴			
第5回目	地域連携子育て支援事業「キッズプラザさのたん」の事前指導Ⅱ 実例を通じた環境構成と実践内容			
第6回目	地域連携子育て支援事業「キッズプラザさのたん」の活動内容の立案Ⅰ 指導案の作成			
第7回目	地域連携子育て支援事業「キッズプラザさのたん」の活動内容の立案Ⅱ 担当教員からの指導と実践法			
第8回目	地域連携子育て支援事業「キッズプラザさのたん」の実践Ⅰ 子どもの発達段階に応じた関わりと支援			
第9回目	地域連携子育て支援事業「キッズプラザさのたん」の実践Ⅱ 保護者への支援とコミュニケーション			
第10回目	地域連携子育て支援事業「キッズプラザさのたん」の実践Ⅲ 親子で楽しめる遊びや表現活動の実践			
第11回目	地域連携子育て支援事業「キッズプラザさのたん」の事後指導 課題と問題解決に向けて（報告書：10点配点）			
第12回目	地域連携事業「さの子育て応援広場」の事前指導Ⅰ 本学におけるさの子育て応援広場の概要と特徴			

第13回目	地域連携事業「さの子育て応援広場」の事前指導Ⅱ これまでの事例を通した舞台内容 ※以下、各役割の授業内容	
第14回目	会場スタッフ（受付、駐車場を含む）：受付、会場、駐車場の業務企画、運営Ⅰ	
第15回目	会場スタッフ（受付、駐車場を含む）：受付、会場、駐車場の業務企画、運営Ⅱ	
第16回目	舞台スタッフ：台本の構成と作成、修正、完成	
第17回目	舞台スタッフ：リハーサルと本番のタイムテーブル作成（照明スタッフ、音響スタッフ含む）	
第18回目	舞台出演：発声法、筋力トレーニング、舞台の基礎	
第19回目	舞台出演：台本の読解と役作り、立ち位置と動き	
第20回目	舞台出演：完成度を上げる（構成力、表現力、演出力、アドリブ）	
第21回目	大道具・小道具：舞台装置、背景、大道具、小道具等のデザイン立案	
第22回目	大道具・小道具：小道具、照明背景等の制作	
第23回目	大道具・小道具：舞台装置（会館用）との調整と大道具制作	
第24回目	衣装・メイク：衣装のリメイクとデザイン立案	
第25回目	衣装・メイク：役に合わせたメイク法	
第26回目	衣装・メイク：メイクの実践と衣装制作	
第27回目	音響・音楽：劇中の楽曲・音楽（BGM）・SE（効果音）の効果的な音響プラン ※電子ピアノの効果	
第28回目	音響・音楽；音響プランと仕込み（会館用）	
第29回目	音響・音楽：舞台に合わせた音響効果と音楽の完成	
第30回目	地域連携事業「さの子育て応援広場」の舞台成果発表 ※学内にて発表（報告書：10点配点）	
事前・事後学習	各事業の開催前には、課題や練習に取り組む時期があり、各自分担して個々の役割を担う。	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
		評価の基準
授業参加態度	30%	子育て支援活動の実践として、積極的な姿勢を高く評価する。
レポート		
調査報告書	20%	各活動の報告書を作成する。（各10点配点） 保育者としての視点で反省や課題を含めて評価する。
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	50%	各活動の成果発表を評価する。キッズプラザさのたん20点配点。さの子育て応援広場30点配点。
その他		
教科書と参考図書		
資料、参考書は適宜指示する。		
履修上の留意点・ルール		
積極的に参加し、進路の実現に向けて行動し、問題解決にも積極的に取り組む。		